

令和3年度 「スラブ・ユーラシア地域（旧ソ連・東欧）を中心とした総合的研究」に関わる
「共同利用型」の個人による研究 研究報告書

令和4年4月29日現在

研究課題名	COVID-19の影響とロシア企業—特に財務分析を中心に	
申請者	氏名	所属機関・職
	齊藤 久美子	和歌山大学経済学部・教授

研究成果の概要

令和3年10月及び令和4年2月末から3月上旬の2回、北海道大学スラブ・ユーラシア研究センターに滞在し、同図書室、大学付属図書館において、資料収集、研究を行った。現在、ロシアのみならず、世界を席卷しているCOVID-19が与えている世界経済への悪影響は計り知れない。そのため、交通機関は運航減少を余儀なくされ、多くの影響を与えることになった。そこで、それらの事情をかんがみ、ロシアと日本の企業の財務分析を行った。北海道大学のみで利用できるデータベースIntegrumを主として参照しながら、研究を行ったそれらの研究成果の一部が、下記の発表論文並びに学会報告である。と同時に、注意すべきは財務諸表、決算書が決算がまだ発表されていても、ここ一年である。それゆえ、この研究の継続をしていきたいと考えている。この中で、注意すべきは次のとおりである。1. COVID-19の影響で経営成績が悪化した産業分野 例えば、航空産業、公共交通産業、観光業、飲食業 2. COVID-19の影響で経営成績が悪くなった、あるいは反対によくなった産業分野 例えば、エネルギー産業、資源産業 などである。なお、滞在中に、ロシアとウクライナの軍事衝突が起こった。そのため、ロシア政府機関、特に当研究においては、国税庁のホームページが使えず、財務分析を行うに支障をきたした。今現在は復旧しているが、今回の軍事衝突は研究に深刻な影響をもたらしたので、それも踏まえて、研究を継続していきたい。

主な発表論文等（雑誌論文、学会発表、図書 等）※謝辞の有無について明記願います。

学会発表「COVID-19のロシア企業への影響—会計学の視点から—」北東アジア学会、2021年9月、謝辞あり。なお、同題目でフルペーパーを学会予稿集に収録、謝辞あり。

他に、テレビ和歌山「混迷のウクライナ情勢」（ゲストコメンテータ、2022年4月28日）、番組の構成上、謝辞を入れることができなかった。

当該研究活動をもとに採択された研究プロジェクト（応募中の研究プロジェクトを含む）現在のところ、なし。